



個別指導塾フォルテ

×



算数

3年生

第12節

小数のしくみ

【例題1】

小数のしくみを知ろう。

357.9は、100、10、1、0.1をそれぞれ何こ合わせた数ですか。

解き方

$$357.9 = 300 + 50 + 7 + 0.9$$

300は、100が3つ

50は、10が5つ

7は、1が7つ

0.9は、0.1が9つ

100は3こ 10は5こ

1は7こ 0.1は9こ

答え

100は3こ、10は5こ、1は7こ 0.1は9こ

【例題2】

小数の計算を筆算でしよう。

3.5 + 4.6 の答えを筆算で求めよ。

解き方

$$\begin{array}{r} 3.5 \\ +4.6 \\ \hline \square.\square \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 1 \\ 3.5 \\ +4.6 \\ \hline \square.1 \end{array} \quad \rightarrow \quad \begin{array}{r} 1 \\ 3.5 \\ +4.6 \\ \hline 8.1 \end{array}$$



繰り上げに
気をつけてね！



答え

8.1

基本をマスターしよう！

(1)高橋祥平選手の足のサイズは、 26.5 cmです。
 26.5 は、 10 、 1 、 0 、 1 をそれぞれ何こ合わせた数ですか。

(2)長谷川アーリアジャスール選手の身長は 186.5 cmです。
 186.5 は、 100 、 10 、 1 、 0 、 1 をそれぞれ何こ合わせた数ですか。



(1)

(2)

答え
(1)

(2)

【コラム】 どうしてサッカーコートは、ちゅうとはんぱな9. 15mという数字をつかうの？

センターサークルの半径は9. 15mと決められています。9mでも10mでもなく、9. 15mを使うんです。
どうしてこんな切りの悪い数字を使うのか、ふしぎに思いませんか。

このぎもんには、長さの単位について考えることで、答えることができます。

むかしサッカーが生まれたイングランドでは、ものの長さを『メートル』ではなく、『ヤード』という単位で数えることが当たり前でした。
だから、サッカーコートにセンターサークルを引くとき、当時のイングランド人はその長さを【10ヤード】と決めたのでした。

ここで重要になってくるのは、1ヤードと1メートルの長さは違うということです。

1ヤードは、約0. 9144mであるため、【10ヤード \approx 9. 15m】になっています。

そう、センターサークルに9. 15mが採用されているのは、これが理由なのです。

私たちからすると一見ちゅうとはんぱに思える数字も、別の文化に生きる人にとっては切りが良かったんですね。

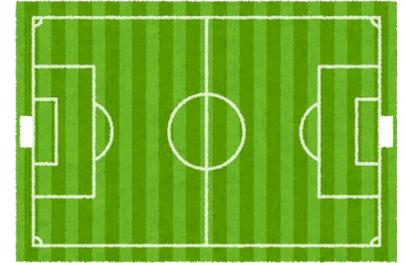
ことなる文化に住む人どうしの手を小数がつないでくれた。こう考えると、小数ってステキですね。



練習問題にチャレンジ！

(1)ゴールポストからゴールエリアまでの長さは5.5mで、ゴールのよこ半分の長さは3.6mです。
5.5 + 3.6 の答えを筆算で求めなさい。

(2)ペナルティーエリアのたての長さは16.5mで、ゴールエリアのたての長さは5.5mです。
16.5 - 5.5 の答えを筆算で答求めなさい。



(1)

(2)

答え
(1)

(2)